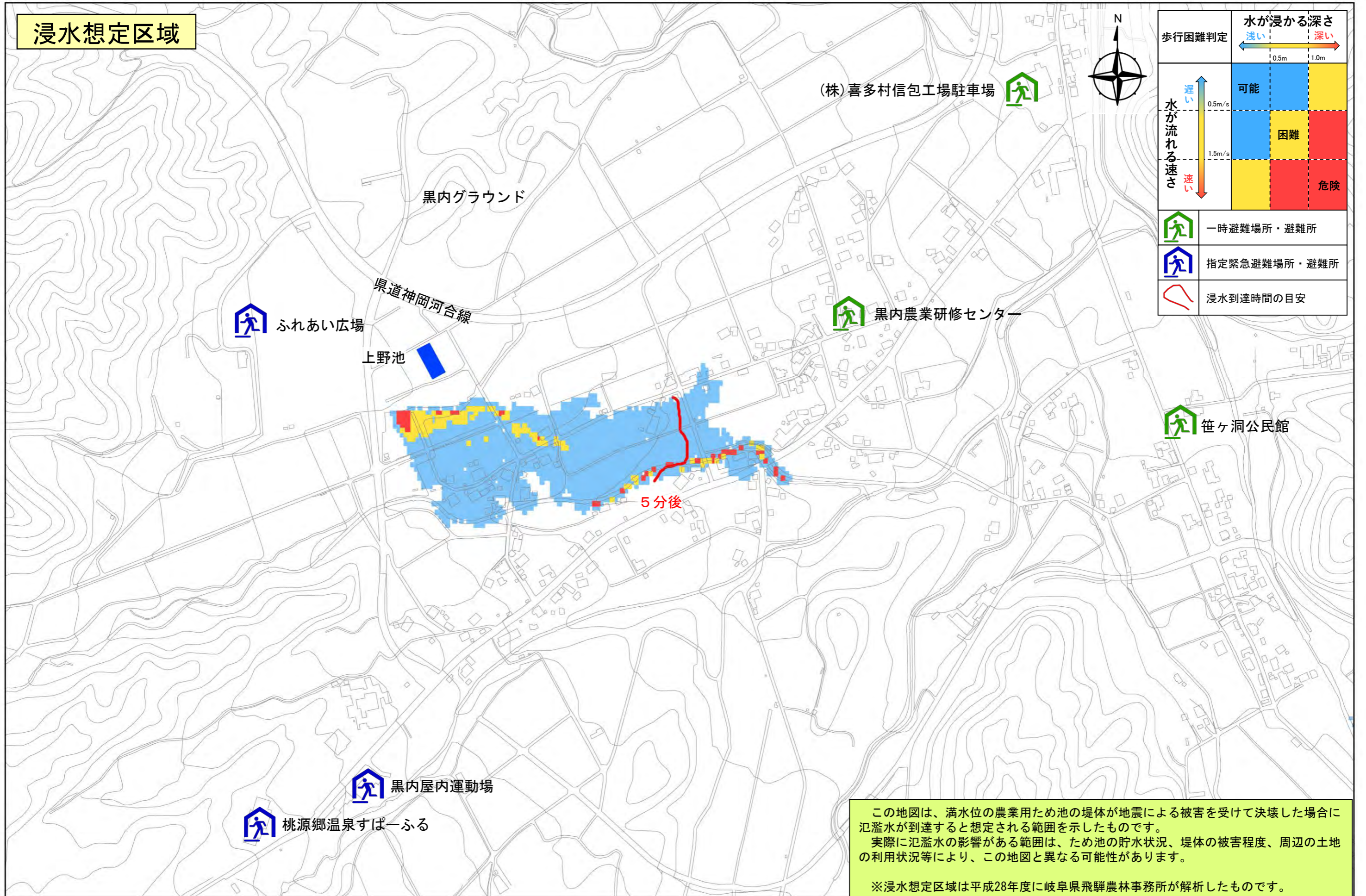


上野池 ハザードマップ（浸水想定区域図）

浸水想定区域



歩行困難判定	水が浸かる深さ	
	浅い ← 0.5m	→ 1.0m 深い
水が流れる速さ	遅い ↑ 0.5m/s	危険
	↓ 1.5m/s 速い	
	一時避難場所・避難所	
	指定緊急避難場所・避難所	
	浸水到達時間の目安	

この地図は、満水位の農業用ため池の堤体が地震による被害を受けて決壊した場合に氾濫水が到達すると想定される範囲を示したものです。
 実際に氾濫水の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、堤体の被害程度、周辺の土地の利用状況等により、この地図と異なる可能性があります。

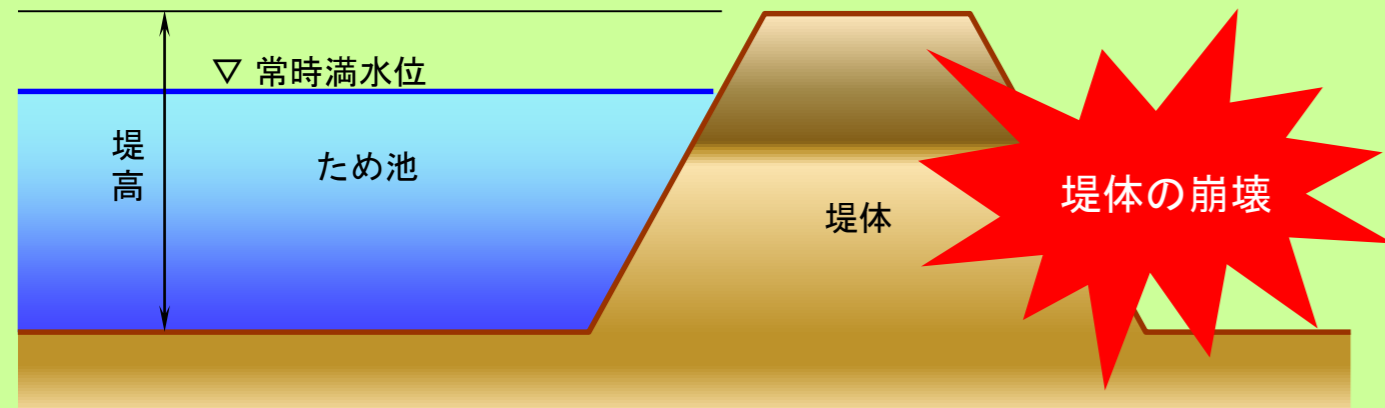
※浸水想定区域は平成28年度に岐阜県飛騨農林事務所が解析したものです。

S=1:5,000 0 50 100 200m

ため池の役割

ため池は、農地をかんがいするために造られた貯水池です。現在は、農業用水の利用のほか、防火用水としての利用や人命・住宅・農地・道路などを洪水から守るための洪水調整機能を備えています。また、美しい景観や親水空間を提供するとともに、水辺の生物多様性を支える重要な役割を果たすなど、豊かな多面的機能を有し、地域の大切な施設となっています。

ため池の規模



ため池氾濫解析の条件

- 堤体決壊条件
 - 本防災マップは、ため池の堤体が満水時に全て崩壊した場合の浸水状況を記載しています。
 - 堤体の決壊は瞬時に起こると仮定し、解析を行っています。
- 浸水想定区域の仮定
 - 浸水区域は、流下する地域の地形条件に堤体決壊時の流出量を与え、降雨量はゼロとしてシミュレーションにより求めたものです。
 - 降雨時に堤体が決壊する場合は、この浸水想定区域に加え、降雨および河川の水量が加わってきますので、浸水区域がさらに広がる可能性があります。

ため池の異常や漏水、部分決壊などに気が付いたら、防災関係部署、市役所等に一報をいれてください。

緊急時の連絡先

名称	電話番号	住所
飛騨市役所 (飛騨市災害対策本部)	0577-73-2111	古川町本町2番22号
飛騨市消防本部	0577-73-0119	古川町高野251番地1
飛騨警察署	0577-73-0110	古川町朝開町1401番地
古川土木事務所	0577-73-2911	古川町上野617-1

災害伝言ダイヤル
171

伝言を登録

171 → 1 → 被災者の電話番号 → 伝言の録音

NTT 無料

伝言を聞く

171 → 2 → 被災者の電話番号 → 伝言を再生

- 携帯電話会社でも、大きな災害時には災害用伝言板を開設しています。伝言は他社の携帯電話やパソコンからも確認することができますので、あらかじめサービス内容を確認しておきましょう。(例) (ドコモ: 災害用音声お届けサービス)
- 災害救助法が適用される規模の災害時には、公衆電話(緊急通報ボタン付)から、緊急ボタンを押して、無料で通話することができます。

日常および緊急時の点検

地震および豪雨により堤体が決壊する被災形態、及びその被災メカニズムは下記のことが想定されています。堤体の異常に気が付いたら、防災関係機関などに緊急連絡するとともに、浸水想定区域の外に退避するようにしてください。

地震による堤体の決壊		豪雨による堤体の決壊	
被災形態	被災のメカニズム	被災形態	被災のメカニズム
<クラック> 	堤体の頂部などにクラック(亀裂)が発生する場合があります。堤体の上下流方向に生じるクラック(亀裂)は水みちとなることがあり、特に注意が必要です。	<浸透破壊> 	堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下し、貯水位が上昇したときに堤体の中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。また、堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、破壊する場合があります。
<沈下> 	堤体の形状をほぼ保ち、クラック(亀裂)などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。多くは軟らかい地盤で発生しています。	<すべり破壊> 	貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し破壊する場合があります。
<斜面崩壊> 	堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる場合があります。	<越流破壊> 	豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流下することによって、破壊する場合があります。また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合があります。
<斜面すべり> 	地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。	<崩壊> 	堤体や地盤が大きく変化し崩壊する場合があります。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられます。

各種情報(インターネット・ホームページ他)

関連情報	アドレス	発信元
気象・災害・防災	https://www.facebook.com/hidabousai/	飛騨市役所
	https://twitter.com/hida_bousai	
防災	http://www.pref.gifu.lg.jp/bousai	岐阜県総合防災ポータル
道路情報	http://douro.pref.gifu.lg.jp/	岐阜県
防災気象情報	http://www.jma.go.jp/	気象庁
	http://www.jma-net.go.jp/gifu/	岐阜地方気象台

避難するときの注意事項

一時避難は裏山の高台などへ!

地震による堤体の決壊は、予測が難しいうえ、浸水の到達時間が早いので、事前の備えをし、自主的に浸水区域の外に避難できるようにしましょう。ため池の決壊と、大雨が重なる時は、浸水被害想定範囲が拡大し、水深が深くなる恐れがありますので、注意してください。

日頃からの準備

我が家の避難経路・避難場所

被害が想定される位置を確認し、いざという時の我が家の避難経路、避難場所、連絡方法を家族で決めておきましょう。

非常持ち出し品の事前準備

荷物は最小限の物にし、いつも取り出しやすい一定の場所に保管しましょう。保存期間等に注意し交換・補充するようにしましょう。

浸水想定区域外への避難

火元確認を

避難する前に、電気のブレーカー、ガスの元栓、ストーブのスイッチを切るなど火元を消しましょう。

自主避難を

大きな揺れ(屋内では、棚にある食器類が落ちる。屋外では電柱が揺れる等)があり、危険を感じたら、自主的に避難しましょう。

避難時の注意事項

動きやすい服装で

丈夫な靴、動きやすい服装で、安全な経路を通して徒歩で避難しましょう。単独行動は避け、二人以上の避難を心がけましょう。

浸水は、浅くても危険

水深がヒザまで来ると、歩くことが困難になります。水深が浅くても、流れに勢いがある場合には、むやみに歩き回することは避けましょう。

車での避難は避けて

車での避難は、交通渋滞を招き、緊急車両通行の妨げになります。特別な場合を除き、徒歩で避難しましょう。

万が一、逃げ遅れたときは

万が一、避難が遅れ危険が迫ったときは近くの丈夫な建物の2階以上へ逃げましょう。

重要 土砂災害 洪水災害

原則 ①垂直避難 加えて、②山とは反対側へ

① 垂直避難

次に ② 山とは反対側へ

原則 垂直避難

飛騨市役所
〒509-4292
飛騨市古川町本町2番22号 TEL 0577-73-2111 (代)

この地図は、飛騨市が作成したものです。